



### 東京同窓会

#### バランスある陣営を 目指して

会長 太田 勝治

去る十月七日、東京同窓会の総会・懇親会が開催されました。参加者は百余名で去年とほぼ同じ数でした。母校からは井上校長、太田総務主任と本部同窓会の田中会長も御出席いただきました。遠路、又御多忙の所誠にありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。



林家たい平師匠のトークショーで大盛り上がり

今回の懇親会も若手と女性群の企画によるものです。内容的にも御好評をいただきました。ここ数年前から東京同窓会は、若手の幹事と女性幹事が少しづつ増えてきており、これが会の活性化に大きく貢献してきております。会の活性化の根本はベテラン、中堅、若手、女性

陣のバランスの取れた陣営にすることです。そのような理想の姿を実現するのは結構時間がかかると思いますが、東京同窓会はそれに向かって幹事一同精力的に活動しております。

### 県庁同窓会

#### 平成十八年の 「県庁能高会」

会長 小野 公生

会員総数二〇一名。新規会員は二年連続してゼロ、同市内の能代北高卒者がいるのに残念。七月七日、野球殿堂入りが決まったOB山田久志さんを招き、祝う会を開いた。イヤタカ会館で総会とあわせ催したところ、会員、OBらで百名が参加した。山田さんは「こんなに早い殿堂入りには驚いている。今後とも野球会に貢献すると共に



祝う会  
(右から)佐々木満さん、高松直志さん、山田久志さん、小野公生、太田久さん

秋田のために尽くしたい」とあいさつしてくれた。後は肩のこらない懇親会。最初山田さん、太田久先生、同期の大沢勉さんらと緊張の表情で話しをしていたが、やがて集まったみんなともワイワイガヤガヤ。

ところで、真つ先に会に駆けつけてくれたのが高松直志さん。昭和五十二、三年母校を甲子園に大投手(勿論大打者)として連れていってくれた人。今はNIT東日本秋田支店の第一線の課長さん。県庁もずいぶん

### ニッ井能高会

#### 「能南3Fクラス会」 (本線汽車通学生新制四期)

ニッ井副支部長 工藤 茂美



東京から五名、三F担任山下三喜男恩師と十五名。「やあ久しぶり 君の父(当時〇〇小学校校長 〇〇営林署署長)とそっくりになったなあ」五十余年のタイムスリップ。懐かしい再会に思わず抱擁。山下先生と脚絆(ゲートル)に地下たび姿で登山した八幡平キャンプ。樽子山新校舎に机や椅子、能中と名入の窓ガラスを運んだ思い出話等尽きることなし。数々の応援歌、校歌で中締め、一夜を共に。翌日世界自然遺産白神山地帯策。県境釣瓶落峠、太良峡の美

### 北海道同窓会

事務局長 大槻 政哉

今年、北海道日本ハムファイターズが日本一になりました。私は北海道在住十五年程度経過し、感情的にも「東北楽天より日ハム」ということになってしまっています。

今年の札幌・北海道における日ハム熱はすごいものがありました。駒苦もがんばったけど(能高もがんばれ!)最後は日ハムに軍配でした。個人的にも十回以上ドームに足を運びました。今は無き?新庄・小笠原、そして、ひちより(森本)・ダルビッシュ・八木はすばらしいかった(ちよっとローカルでしょうか?)また、隣の鷹巣出身の中嶋捕手とは、たまたまお好み焼き屋で一緒にになり、秋田弁で会話もさせて頂きました。(普段は関西弁のようにですが;)。本当に楽しい野球シーズンを送ることができました。感謝!

さて話は変わり、一昨年度、故佐藤満徳氏より、同窓会の事務局長のバトンを渡されたものの、昨年度は個人的な理由により同窓会を開催することができ

ず、満徳さんに対して申し訳ない思いで一杯でした。最近のこの時勢の中でなかなか盛会にするのは難しいのかも知れませんが、せっかくある同窓会北海道支部をなくすわけにはいきません。若手も徐々に集まってきていることだし、日本ハムの勢いにあやかっけて来年はがんばりたいと思うのです。

### 編集後記

「松陵」第十八号を発行するにあたり、原稿をお寄せいただきました方々に対して心からお礼申し上げます。事務局に次々と届く便りを読むたびに、母校への熱い想いが伝わってきました。また同時に、本校のさらなる活躍と発展を期待する声も送られてきています。

さて、今年本校同窓会のホームページが開かれ、本校の最近の状況も随時更新されております。同窓生の皆様から多くのアクセスをお待ちしております。

アドレス  
http://www.shirakami.or.jp/~noshirouhs-dousou/

また、同窓会誌「松陵」の紙面充実のために、より一層のご協力をお願いいたします。

